

業とは別に、授業を受けている時、板書したノートを眺めていた時に新しい発見を調べてみようと思うこともあり、色々と知りたいという勉強意欲が湧いてきます。

ポルトガル語は、英語のように難しいというようなことはなく、面白いし積極的にスキルとして身に着けていきたいと思えるような語学です。愛知県などは、特に外国の方と関わる人が多いと思うので、ポルトガル語を勉強してコミュニケーションができたらと思います。

### ドラマや音楽も楽しんで… 韓国語を学んでいます！

国際コミュニケーション学部 3年  
山田捺津子

私が第二外国語を韓国語に決めた理由は、大学入学当時、友人の影響で韓国ドラマやK-POPに夢中になっていたからでした。そんな単純な理由で学び始めた韓国語ですが、日本語と文法が同じで、似たような発音の単語が多く、非常に学びやすい言語だと感じました。

簡単な会話や文章が読めるようになった昨年の夏、私は韓国フィールドワークに参加し、またその半年後には友人と2人で韓国旅行へ行く機会がありました。フィールドワーク参加時は通訳の現地学生と共に行動していたため、韓国語を使わなくても不自由はありませんでしたが、個人旅行となるとそうはいきません。明洞や南大門などの観光地は日本語が通じる場合が多いですが、私たちが宿泊したホテルの周辺はほとんど日本語が通じず、初日に夕食をとるために入った食堂では入店してから退店するまでの間ずっと不安で、戸惑っていたことをよく覚えています。しかし、そこの店員さんは韓国語が不自由な私たちに、文章を簡単な言い回しに変えて何度も説明して下さったり、話しかけて下さったりしました。それに対して、私たちが

知っている単語を使って、たとえ文法や発音が間違っていたとしても何か一言は返すように心がけました。ほんの少しですが会話できたことがとても嬉しく、それ以降はできる限り入った店先では韓国語を使おうと決め、実行したことでとても充実した時間を過ごすことができたと思います。そして、次に韓国に行く時には「もっと会話ができるようになろう！」という新たな目標を立てるきっかけともなりました。

この経験から何か母語でない言語を学ぶ際、ヤル気を継続させるためには、その言語を母語とする人との関わりを持つことが非常に重要だと感じています。また、ただ教科書や参考書で勉強するだけではなく、たまにはその国のドラマや映画、音楽などを使用して、楽しみながら学ぶことも良い息抜きになります。

大学に入学して、ただなんとなく第二言語を学んでいる方も多いと思いますが、私はただ単位のために第二言語を学ぶのは非常にもったいないと感じます。単位取得以外にも何か目的や目標を持って学ぶ方が、より充実した学習ができるのではないのでしょうか。それがどんなことであれ、糧になるのであれば、その言語を学ぶ十分な理由になると思います。

### タイ語を学んで…

日本との深い縁！  
国際コミュニケーション学部 4年  
岡部優一

皆さんタイってどんなイメージですか？私は愛知大学に入学して第二言語で履修する以前は、象のイメージしかありませんでした（笑）。日本で普通に生活していたらタイ語をみる事はないし、聞くこともないと思います。しかし、タイって意外に日本と大きく関わりがあるのですよ。昨年、タイの大洪水でたくさんの日本を代表するメーカーが被害を受けたのは記憶に新

しいと思います。実際に、バンコク日本人商工会議所の会員数は1,371社（2012年）で、その数は年々増加しています。これからも日本はタイと深く関わっていく事は間違いありません。

私は今までに2度タイに行ったことがあります。バンコクに行った時、本当にここは日本かと勘違いしてしまうくらい日本の物を見つけることが出来ました。街に出ると、日本語の看板や日本食レストラン、アニメを簡単に見つけることができます。コンビニに行くと、日本企業の商品、日本語で書かれたパッケージの物が普通においてあります。こんなにも日本の企業が進出していることに本当にびっくりします。バンコクは高層ビルがいくつも建っており、かなり近代的な都市です。道脇には屋台がいくつも並び、日本でいう縁日のようにいつも活気あふれています。物価もとても安いので、1食100円くらいで食べる事が出来ます。タイ料理もとても美味しいです。トムヤムクンを始めとする、タイ料理独特の味付けは一度ハマったらやめられません。ほとんどの人が仏教を信仰しているので、その信仰深さに驚きます。バンコクにあるお寺はとても大きく豪勢で一度見る価値があります。

タイは、食べ物、人、文化すべてがキュートで、何か惹きつけられる不思議な魅力があります。人々は優しく、活気溢れ、まさに「微笑みの国タイ」です。他にも、タイには面白い文化やあっと驚くような事がいっぱいあります。こ



こで話してもキリがありません。一度タイに行く事をオススメします。もちろん、タイ語を勉強して話す事が出来たらかなりタイの魅力にハマるでしょう。

Я люблю тебя.

(ヤー リュブリュー チェビヤー)

文学部2年 山本あおい

Здравствуй! (こんにちは!) みなさんロシア語って言ったらどんなイメージを持っていますか? 顔文字みたい、文字がローマ字と違う文字だから難しそう、あるいはあまり身近でないためよくわからない、どんな言語か想像できないという人もいるかもしれません。しかしロシア語とは意外にもわたしたちの生活に密着しているものなのです。例えばいくら。あれはもともとロシア語の икра (イクラ) が元であり、その意味は「魚の卵」という意味なのです。つまりわたしたちが日頃スーパーやお寿司屋さんで見かけるいくら、つまり鮭の卵はロシア語の「魚の卵」からきているということなのです。いろんな人と話していて気付いたのですが、みなさん意外とハラショーという言葉を知っていて驚きました。ハラショーとは Хорошо. と書き、素晴らしい、いいね、などと言った意味があります(英語でいう Good. に近い)。しかしなぜこのハラショーが日本に広まっているのでしょうか、不思議です。また、文字に関してですが、確かにローマ字とはいくつか違う点もありますし、量も比べてみると多いです(ローマ字: 26文字、キリル文字: 33文字)。しかしこのなかのいくつかはローマ字と全く同じ形のものもあります。量の多さはなんともなりません、アラビア文字のように全てなじみのない形の文字でないのでまだとっつきやすいかもしれません。わたしが考えるロシア語の一番の魅力は発